

都政課題解決スタートアップピッチイベント

UPGRADE with TOKYO

第 51 回ピッチイベント 募集要項詳細

【募集期間】

2025年9月11日（木）～2025年10月1日（水）18:00（予定）

【応募方法】

UPGRADE with TOKYO ホームページの第51回 募集ページ（<https://upgrade-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/theme/?theme=51>）内の応募フォームリンク

（<https://forms.office.com/e/5f4Jy4GmQz>）より、応募されるスタートアップのピッチ登壇予定者が、応募フォームに必要事項をご記入いただき、ピッチ素案資料と合わせてご提出をお願いします。

スタートアップのピッチ登壇予定者に対し、TOKYO UPGRADE SQUARE（TUS）の支援もご提供できるよう、応募に当たっては、メンバー登録をしていただくことを推奨します。メンバー未登録の方は、募集ページ（<https://upgrade-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/theme/?theme=51>）内のTUS メンバー登録リンク（<https://upgrade-square.jp/apply>）より、メンバーの登録をお願いします。

※TOKYO UPGRADE SQUARE（TUS）はUPGRADE with TOKYO の兄弟事業であり、行政機関×スタートアップの連携・協働を促進し、スタートアップの最適なプロダクトを社会へフィットさせることを目指す、官民連携の場を提供しています（ピッチイベントもTUS で開催中）。

スタートアップのピッチ登壇予定者に対し、TUS の支援もご提供できるよう、応募に当たってはメンバー登録をお願いしています。

<TOKYO UPGRADE SQUARE（TUS）で提供するサービス>

- コワーキング・交流スペースの利用（様々な属性のメンバーと交流できます）
- TUS オリジナルイベントへの参加（官民連携促進や事業成長に資するセミナー、パネルディスカッション、行政機関からのメンタリング等）
- 企業からの要望に応じて、スタートアップ支援の専門家により、行政機関に対する提案内容のブラッシュアップや経営課題の解決に資するアドバイスを提供

【応募及び問合せ先】

都政課題解決スタートアップピッチイベント UPGRADE with TOKYO 事務局

E-mail：upgrade.with.tokyo_jimukyoku@tohmatu.co.jp

【イベント概要】

審査を通過した5社のスタートアップによるピッチイベントを下記の通り開催します。

●日時 2025年10月31日（金）14:00～16:45を予定（会場集合は11:00～12:00を予定）

●主な内容

- 1 スタートアップによるピッチ（5社を予定）
- 2 結果発表及び審査委員講評
- 3 フォトセッション

【開催場所】

TOKYO UPGRADE SQUARE（新宿区西新宿二丁目6番1号新宿住友ビル25階）

1. 本事業の目的

東京が抱える様々な都政課題を解決するためには、民間から生まれた画期的な製品・サービスを活用することが重要です。

そこで東京都では、スタートアップによる都政課題解決に向けた製品等のピッチや、行政機関、VCや企業等との交流の場を創出するイベントを2019年12月から開催しています。

ピッチ審査で審査委員から都政課題の解決に資すると認められたスタートアップは、事業の協働等に向けて具体的な交渉を進めるきっかけを持つことができます。ぜひご応募ください。

2. 主な応募対象

応募条件は、以下のとおりです。応募には、業種の制限はありません。

応募条件に該当するか判断に迷う場合は、運営事務局までご相談ください。

- 概ね創業後10年未満又は第二創業後10年未満であること
（注）一般社団法人、合同会社、個人事業主等も含みます。
また、第二創業には、製品・サービスの新リリースや大きな改良も含みます。
- 応募テーマに合致した製品・サービスを有し、最新バージョンをリリースしてから5年以内であること
- 公序良俗に反する事業を行うなど、東京都が支援することが適さないと判断した企業等ではないこと

※ 過去に本事業で優勝している場合については応募対象外とします

3. 応募テーマ

『水難救助活動における要救助者の迅速な発見・救助』（東京消防庁）

東京消防庁は、都内の河川や東京湾など多様な条件下での水難救助活動を行っており、要救助者の迅速な発見・救助を実現するため、様々な技術の導入を検討しています。

当庁では、既に水中ロボット2機を運用中ですが、既存の機体は導入後16年以上経過しており、重い機体の取り扱いに苦勞する、搭載されている旧来のカメラシステムでは混濁した都内の河川や東京湾における水中検索に活用しにくい、といった課題を抱えています。

こうした課題を解決するため、水中・水上において活用可能なドローン、AI等による要救助者の検知技術、海洋モニタリング技術など、当庁の水難救助活動における迅速な要救助者の発見・救助に活用できる製品・サービスを募集します。

■ 期待する製品・サービスの機能の例

- ① 水難救助活動にあたる救助隊が容易に取扱うことができる小型・軽量な水中ドローン
- ② 海洋・河川をリアルタイムでモニタリングし、要救助者を発見する機能
- ③ 要救助者の位置特定の効率化に資するセンシング機能、画像処理技術、検索範囲のマッピング機能等
- ④ 波の強弱や水流データから漂流地点を予測するシミュレーション技術
- ⑤ 目視困難な混濁した水中において、効率的に検索ができる機体とセンサー
- ⑥ カメラ映像をリアルタイムで解析し、水中の状況を可視化する 機能
- ⑦ AI等を用いて要救助者を検知する機能

4. 主な審査基準

次のような観点で審査し、5社（予定）を選出します。

- ・ 製品・サービスが上記応募テーマに合致しているか
- ・ 製品・サービスを用いて東京都や区市町村と協働することにより、都政課題の解決に資することが見込まれるか
- ・ 製品・サービスに新規性・独創性があるか、ソーシャルインパクトがあるか
- ・ 財務状況等に問題がなく、製品・サービスの生産(提供)計画に適切性があるか

応募者全員に対し、事務局から結果を通知します。

5. 応募手続き

(1) 応募スケジュール (予定)

応募期間	2025年9月11日（木）～2025年10月1日（水）18時（予定）
書類審査結果通知	2025年10月14日（火）を予定
プレピッチ審査 (ピッチイベント登壇者選出)	2025年10月20日（月）を予定 ※オンラインによる実施

(注) 書類審査通過者には事務局等に対するプレピッチ(オンライン)を実施していただきます。

参加方法は審査通過者に別途ご連絡いたします。

応募に当たっては、10月20日（月）の日程を空けておいていただきますようお願いいたします。

(2) 提出書類

応募フォームへの記入及び公開可能なピッチ資料ドラフト版（以下の説明を含む。pdf ファイル形式。10MB 以内。）

- ・ 製品・サービスの名称・概要
- ・ 製品・サービスが応募テーマに合致していること
- ・ 製品・サービスを用いて東京都や区市町村と協働することが都政課題解決に資すること
- ・ 東京都及び区市町村と契約する場合の内容や金額別プラン
- ・ 東京都及び区市町村との役割分担
- ・ 東京都及び区市町村との協働や製品・サービスの導入までの全体スケジュール

(注) 公開可能なピッチ資料ドラフト版は、少なくとも書類審査で利用します。

応募者全員が提出してください。

また、プレピッチ前、ピッチ本番前に、公開可能なピッチ資料を出し直すことができます。

(3) 提出方法

(<https://forms.office.com/e/5f4Jy4GmQz>) より、必要事項を応募フォームにご記入の上、ピッチ資料ドラフト版と合わせてお申し込みください。

6. その他

状況により、ピッチイベントをオンラインで開催する可能性があります。

水難救助活動での要救助者の迅速な発見・救助

水難事故への対応

東京消防庁では、海や河川などで人が溺れているなどの水難事故において、水難救助隊などの部隊が、消防舟艇や潜水用資器材などの特殊な装備を用いて、水面や水中での救助活動を行っています。



現状の課題

- ・ 現在、当庁で使用している水中ロボットは機体が大きく、重量も重いため、水難救助の災害現場への投入に時間を要するなど、取り扱いに苦労する場面があります。
- ・ 隅田川などの河川や東京湾は、水が濁っているため水中での視認性が悪く、現在の水中ロボットのカメラシステムでは、水中での要救助者の捜索に活用しにくい状況が生じています。
- ・ 現在の水中ロボットは、マッピング機能を有しておらず、検索範囲を情報共有しにくい場合があります。

期待するシステム・サービスの機能の例

○ 水難救助活動での要救助者の迅速な発見・救助に資する技術

- ・ 水難救助活動にあたる救助隊が容易に取扱うことができる小型・軽量な水中ドローン
- ・ 海洋・河川をリアルタイムでモニタリングし、要救助者を発見する機能
- ・ 要救助者の位置特定の効率化に資するセンシング機能、画像処理技術、検索範囲のマッピング機能等
- ・ 波の強弱や水流データから漂流地点を予測するシミュレーション技術
- ・ 目視困難な混濁した水中において、効率的に検索ができる機体とセンサー
- ・ カメラ映像をリアルタイムで解析し、水中の状況を可視化する機能
- ・ AI等を用いて要救助者を検知する機能

○ 得られた情報をもとに水難救助隊が迅速に要救助者を救出

- ・ 上記の技術等を活用し発見した要救助者の位置情報を水難救助隊にフィードバックできる機能
- ・ 水中・水上ドローン等と水難救助隊が連携し、効率的に要救助者を水中検索できる機能



【迅速な要救助者の発見と救助】を実現